

生きがい!

仲間と踊る時間が楽しい!

篠路フォークダンス同好会

齋木 薫さん (75)



楽しいな表情を浮かべて、軽やかなステップで踊っているのは、篠路フォークダンス同好会の代表を務める齋木薫さんです。篠路地区では、昨年八月に、地域主催の高齢者向け生涯学習講座「篠路シルバー水曜大学」が開講。同地区に住むお年寄りたちが、仲間と一緒に学んだり、運動したりしながら交流を深めました。そして、このつながりから生まれた新たなふれあいの場が、篠路フォークダンス同好会です。

「こんなに充実した楽しい時間を講座期間だけで終わらせるのは惜しい」。そんな思いを持った受講者たちから、みんなで楽しめるだけでなく適度な運動にもなるフォークダンスの同好会を結成しようという意見が沸き上がったのです。こうして誕生した同好会です

が、結成直後はほとんどのメンバーが、うまく踊れなくて仲間には迷惑を掛けるのではないかと、不安を抱いていたそうです。しかし、そこは気心の知れた仲間同士、すぐにお互いに励まし合うことで、不安は解消されました。「今では踊っている最中も笑い声が絶えませんよ」と、齋木さんは話します。

現在、同好会のメンバーは、地域で開かれる文化祭でのステージ発表に向けて練習を続けています。その練習に一生懸命取り組んでいる齋木さんは、「以前にも増して明るくはつらつとしているね」と、よく周囲の人から言われるそうです。「自分たちだけでなく、踊りを見てくれる人たちにも楽しんでもらえるとうれしいです」と話す齋木さんは、とても生き生きと輝いています。



今回お話しを伺ったお二人は、人とのふれあいを生きがいと感じて、はつらつと生きていました。いくつになっても生き生きと暮らすためには、このような生きがいが必要なのです。ぜひ皆さんも、生きがいを見つけてくださいね。